

アバイア テレビ会議システムを新規導入

日本本社とイギリス拠点をリアルタイム接続 コミュニケーションアップとコスト削減を実現



User Profile

スタジオ用機器メーカー様

事業内容：スタジオ用機器の製造
従業員数：約380名
導入年月：2014年 3月

海外導入支援プログラムを利用し、日本本社とイギリス拠点にシステム導入

イギリス拠点ほか海外に複数の拠点をお持ちの某スタジオ機器製造会社様。過去にテレビ会議の導入を検討したことがありましたが、当時検討していたシステムのクオリティが低かったため、導入には至りませんでした。結局海外拠点とは電話やメール、現地への出張などを行うことでコミュニケーションをとっていましたが、やはりリアルタイムに対応できないことに常々不満を感じていたといえます。

この問題を解消するため、改めてテレビ会議導入を検討することとなり、今回VTVジャパンにお問い合わせをいただきました。

機器選定の段階では、ポリコムやその他メーカーのシステムも候補にありましたが、クオリティと価格のバランスがとれていること、また海外への導入実績が多くありスムーズに導入ができることなどが決め手となり、アバイア社のSCOPIA XT4200の導入が決定しました。

海外導入支援プログラムを使ってイギリス拠点への導入を行いました。2013年10月の初回お問い合わせから導入完了まで、約5ヶ月という短期導入を実現しました。

海外導入支援チームとイギリス現地パートナーが連携して現地調査を実施し、導入に向けて準備を進めていきました。システム設置当日も現地パートナーの技術員が訪問するので、お客様自身が細かいセッティングを行う必要はありません。海外導入支援プログラムでは、日本での一括決済を行えるので、海外拠点への負担もなくスムーズに導入することができました。

2014年3月には、日本本社とイギリス拠点の同時導入が完了し、本格的なテレビ会議の運用が始まっています。

主に社内の打ち合わせにテレビ会議を利用していますが、質の高いコミュニケーションがとれています。またイギリス-日本間の出張が減ったことで、出張費の削減にもつながっています。出張にかかる移動時間も無くなり、社員のストレスも軽減したといえます。

今後、打ち合わせや会議はできるだけテレビ会議に切り替えて、ますますのコストカットとコミュニケーションアップを図る予定です。

今後はMobile端末を使っでの会議参加も視野に

現在、日本本社とイギリス拠点の2拠点間でテレビ会議を行っていますが、アメリカ拠点への導入も視野に入れています。

アメリカ拠点では、モバイル端末を使っでのテレビ会議参加を考えています。お客様のスタジオで何か機器に不具合があった場合には、通常お客様先に出向いて対応を行っていますが、たとえばモバイル端末を使ってお客様先から直接本社と接続ができれば、リアルタイムに現場の状況を確認して問題解決を行えるのでは、と期待しています。

今回お客様が導入したシステムでは、モバイル端末の接続はできませんが、VTVジャパンの提供している「VTVCareカンファレンスサービス」を利用することで、お客様の環境下でもモバイル端末利用が可能です。自社でMCUを持たなくてもモバイル端末とテレビ会議システムの混在会議を実現する「VTVCareカンファレンスサービス」を使って、日本、イギリス、アメリカの3カ国でのテレビ会議の実現に向けて検討しています。

